

きふね

大田区立大森第一小学校 同窓会機関誌

令和2年4月1日 第6号

「学校・PTA・地域」

会長 萩原 俊紹

平成二十六年二月二十三日発会以来、発足から運営に至るまで、るご指導頂きました内田校長先生がこの度教育委員会へ転任されるとお聞きし、来るべきときが来たなという思いと共に、学校とPTAと地域が一体となつて子供達の教育環境整備のために力を合わせ取り組むことを一貫して具現して頂きました事に大変感謝致して居ります。

さて、今年度卒業生六十四人の方々に入会して頂きました。このお子さん達には確りとしたこれからの人生を歩んで頂けたらと切に願つて居りますし、私共人生の先輩として、多少なりとも役に立てればと思つております。人間には年令に依り、立場に応じて色々な考え方・感じ方・価値観が出て参ります。昨年より「二十歳の自分に向けて」のメ

ッセージを卒業生に書いて頂き、二十歳になったときにタイムカプセルより取り出し、どれだけ成長したかを感じて頂き、さらなるステップアップに繋がればと取り組んで居ります。

私は見守り隊の代表として隊員の皆様と一緒に、毎日正門で挨拶運動をして居りますが、地域の中に一人でも多くの安心だと思える大人達の顔が見えることが、子供達の安心安全につながると思つております。現在各自自治体の皆様にも参加して頂き、通学路等にも立つて頂き、子供達との交流に努めて居ります。何か自分にも関われないかとお希望頂ける方は是非ご連絡下さい。お待ちしております。

地域を愛する子ども

地域に愛される学校を

第三十四代 前校長 内田 聡司

大森第一小学校での六年間の校長職を務めさせていただいた濃密

な時間を思い起こすと、萩原様をはじめ同窓会や地域の皆様の笑顔が臉に浮かんできます。開校百四十年の際には、産業道路の車両の通行を一時停止させる為の大森警察への陳情や、子ども達の「学級御輿」や町会・自治会所蔵の山車をお借りして、学区域三方向に練り出す計画にご理解・ご協力、金管楽器のご寄贈による金管バンド部の発足など、想い出には枚挙に暇がありません。長海苔巻きでの、町会婦人部の皆様のご尽力も感謝申し上げます。

開校百四十五周年を迎えた本年度も、地域に根ざした教育活動を展開する大森第一小へのご支援をお願いいたします。私は大田区教育委員会指導課教育アドバイザーとして、第一小と子ども達の成長を見守つてまいります。どうぞお健やかに過ごしてください。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



「総会中止のお知らせ」

今年度から卒業アルバムの配布が三月中に為されるため、同窓会の入会式が出来なくなり、謝恩会の中に組み込んで頂くこととなりましたので、従来のような六月総会の開催が出来なくなりました。更にはコロナウイルス感染防止対策により、卒業式そのものが関係者のみで、短縮されて実施されるなど、学校運営に支障をきたす事態となりましたので、令和二年度の総会は中止とさせていただきます。尚、今後の運営が不確定のため、誠に勝手ながら、同窓会規約の附則として「一、幹事会をもって総会に変える事が出来る」という一項を加えさせて頂きたく、お願いを致します。この件に関しましてご意見のある方は私宛(大森東三の九の十九・三七六一〜三九一二)電話ないしは手紙でご意見をお寄せ下さいますよう宜しくお願い致します。

「機関誌に関するお願い」

毎年、卒業生に新会員として入会

して頂き、同窓会も大所帯となつてまいりました。大変喜ばしいことです。が、会員数増加に伴い、機関誌の郵送料が崇高、運営に支障をきたしてまいりました。昨年度より学校側と相談の結果、大森第一小学校のホームページに掲載させて頂くこととなりましたので、是非そちらをご覧くださいますようお願いいたします。

直接郵送は今回限りとさせて頂きますが、郵送をお望みの方は会長あて(萩原俊紹・大森東三・九・十九)葉書にてお申出下さい。

平成三十一年度 主な行事

同窓会入会式及び定期総会

期日：平成三十年八月八日(土)

十一時 定期総会

十一時半 入会式

○入会式次第

1. 会長挨拶
 2. 新加入代表の言葉
- 萩原会長の挨拶に続き、新加入者である、平成三十一年度卒業生の代

表の言葉がありました。新同窓生として立派で力強い言葉に同窓会の思いが受け継がれる期待を強くすることができました。

○定期総会次第

- ・ 開会の言葉
- 1. 会長挨拶
- 2. 学校長挨拶
- 3. 議長選出
- 4. 議事
- ① 事業報告
- ② 会計報告
- ③ 事業計画
- ④ 予算案
- 5. 事務連絡
- 6. 余興
- ・ 金管バンド演奏
- ・ タイムカプセル

・ 閉会の言葉
会長、学校長の挨拶の後、会長を議長に選出し、議事が進みました。その結果、事業報告、会計報告、事業計画、予算案が賛成多数で了承されました。

いよいよお待ちかねの余興です。金管バンドの演奏。多少緊張を感じられましたが、新しいメンバーとなり短い練習期間とは思えない音色

を出し、観客の皆様にご感動を与えることができました。平成三十一年度定期総会は無事に終了することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

『長海苔巻作り』

十二月八日(日)に一年生とその保護者を対象に長海苔巻き作りを行いました。先生方のご尽力で児童四十三名(保護者を含め八十六名)の申込みを頂きましたが、ノロウイルスの時期に当たると、保護者あてに風邪をひいたり、体調が優れないときはご遠慮下さい旨の手紙をお配りしたため、当日の参加者は五十名弱になりましたが、和気あいあいとした雰囲気の中、無事に完成し、切り分けた海苔巻きをその場で食べて、みんな楽しく満足してくれました。

令和二年度同窓会の組織

◎相談役

- 伊東 祐孝(大森中八幡自治会会長)
- 大塚 政利(大森山谷自治会会長)
- 志田 和陽(大森町自治会会長)

横山 勝利(大森東貴船自治会会長)

中島 章 (昭和三十二年度卒)

◎会長

萩原 俊紹(貴船神社宮司)

(本校第十七・十九代PTA会長)

(本校地域教育連絡協議会座長)

(本校PTA顧問代表)

(本校見守り隊代表)

(金管バンド名誉会長)

◎副会長

磯邊 隆【企画・懇親的活動】

(本校第二十一・二十三代PTA会長)

(本校見守り隊)

橋本 真一【総務・文化的活動】

田中 貴一郎

【総務・ボランティア活

動】

美濃部 圭史

【企画・スポーツ的活動】

◎総務

美濃部 等、金子 明彦

伊藤 晋一郎

◎会計

丸山 晶子、福本 佳子

◎企画

須山 智徳、中村 良子

萩原 悠子、茨田 桂太

木内 直美

◎監査

鳴嶋 清恵 須山 喜史

◎学校

名誉会長 尾上 健二(現校長)

特別常任幹事(現副校長)小林 和弥

特別幹事(現教員)大崎 和彦

令和二年度主な行事

※総会(大一小ランチルーム)

六月二十日(土)または八月月上旬、

現時点では未定です。

※長海苔巻き作り

十二月十三日(日) 十時

会費 五百円(小学生は無料)(十

一月末迄に会長宛お願い致しま

す)

おやじの会共催

ご家族での参加を歓迎します。

長海苔巻き作り



長海苔巻き完成!

定期演奏会



『私と大一小』 大塚政利

私の入学は1949年（昭和24年）4月でした。当時の入学式は校庭に椅子を出して記念写真を撮るのが唯一のセレモニーでした。着物に下駄・ランドセル・運動靴等持っている児童は数える程しか居ませんでした。当時の入学式の写真をみると戦後の復興が始まったばかりでした。その中で写真中央の担任の先生との出会いが70年の長きにわたり毎年一度お会いして懐かしい話が出る尾上旧性「宇土」先生との出会いでした。3年生位から給食が始まりました、コッヘパンに脱脂牛乳、野菜が入ったスープ、1週間に一度の割合のカレー汁、食べ物不十分な私達に取って最高のランチでした。カレー汁の時など何時も手を挙げて残りの汁を頂きました。楽しみは給食後の校庭での遊びでした。石ころだらけの校庭で始業の鐘が鳴るまで遊びまくりました、その時分になると2部授業は無くなり午後2時限の授業に変わって

いました。3年生になるとクラス替えがあり慕っていた担任の先生から男性の担任に変わりました。元の担任とは校庭で顔を合わせる程度になりましたが、私が5年生頃に先生は結婚のため退職されました。以後中学・高校となり先生の消息も分からず疎遠になりました。私が成人を迎える頃同級生の一人より連絡があり先生の消息が分かり同じ都内で世田谷に住んでいる事が分かりました、当時仲の良い4、5人の同級生を誘い何度も伺いました。その後はご主人を亡くしお母さまを亡くしその都度お会いしました、先生は積極的に趣味や成人相手の専門学校の講師をしたりして元気に過ごされて居られました。東京から千葉に居を変えて数年前から神奈川県奈川県の老人ホームに移り現在も元気に過ごしています。年に一度は数人の仲間とホーム訪ねて昔話を楽しんでいきます。今になって思うのですが母、以外好きになった先生は私の初恋だったのかと思います。



昭和二十四年四月 入学式

※総会

六月八日(土) 十一時より

内容 入会式、タイムカプセル、金管バンド演奏等

懇親会(二十歳以上) 会費五千円
大森山谷自治会館

※長海苔巻き作り

十一月八日(日) 十時から

会費 五百円(小学生は無料)

おやじの会共催